

2022（令和4）年度 日教弘教育賞募集要項（東京支部）

日教弘教育賞は、教育関係者が使命感をもって、日々行っている教育実践の優れた結果の報告の場として、日教弘教育賞実践論文の募集を行う事業です。令和4年度は下記要項のとおり実施します。

1. 主催 公益財団法人 日本教育公務員弘済会

2. 助成要件

(1) 助成の趣旨

学校教育の向上発展に寄与する優れた教育実践論文を対象とします。

(2) 助成の対象にならないもの

- ① 公的機関、研究会、市販の図書・教育誌等に既に発表したもの及び他団体に応募ずみのもの。
- ② 過去5年以内（平成27年度～令和3年度）の受賞校、受賞者。（学校部門・個人部門を問わず応募できません）

(3) 募集対象

論文は①学校部門(団体を含む)を対象とします。

① 学校部門

国・公・私立の幼・小・中・高・特別支援・高専等の各学校及び教育機関等並びにそこに勤務する教育関係者で組織する教育研究団体

[教育関係者とは各都道府県市(特別区を含む)町村等に設置された国・公・私立の学校、その他の教育機関に勤務する教職員及びこれに準ずる者又は、これらの退職者]

※個人部門については、「教育実践論文」で申請してください。

(4) 募集期間 令和4年4月1日（金）～令和4年8月19日（金）

(5) スケジュール（予定）

- | | | |
|------|-------|------------------------|
| 令和4年 | 9月下旬 | 東京支部選考を行います。 |
| | 12月下旬 | 日教弘教育賞一次選考を行います。 |
| 令和5年 | 1月中旬 | 日教弘教育賞二次選考を行います。 |
| | 3月上旬 | 受賞結果を通知します。 |
| | 3月中旬 | 日教弘教育振興事業助成金贈呈式を開催します。 |

(6) 応募方法

① 研究主題

論文の主題は、「学校の実態を踏まえ、明日の教育を考える」という立場から応募者が具体的な研究主題を決めて論文をまとめることとします。

② 用紙及び論文量

論文の作成は原則としてワード等を使用してください。

指定の原稿用紙はありませんので、下記のとおり設定の上論文等を提出してください。（ア・イは必須、ウは任意）

なお、電子データ（CD-ROM等）を併せて提出してください。

ア 要旨

様式は48字×43行×1段組×A4判1ページ横書きとします。

執筆者の所属学校・役職・氏名・研究主題・研究副題・研究の要旨をまとめてください。

イ 本文

様式は24字×43行×2段組×A4判4ページ横書きとします。

この中に研究主題・執筆者の記載欄（24字×6行×2段組・下記③参照）を含みます。

ウ 資料

A4判1ページとします。本文中に図表・写真等を添付してください。

② 論文の書き方

ア 論文は横書きとします。

イ 文字は常用漢字、現代かなづかいを使用してください。

ウ 本文1ページ目の6行（段組み左右）を用い下記のとおり印字してください。

※ 学校名・団体名・グループ名及び役職・氏名の欄には下記のとおり記入してください。

1 学校の場合は、学校名及び校長名

2 団体の場合は、団体名及び代表者役職・氏名

3 グループの場合は、グループ名及びその代表者役職・氏名

4 個人の場合は、所属学校名及び役職・氏名

③ 小見出しや文章の書き出しの前は、ひとマスあけてください。（レイアウト等については日教弘ホームページ(www.nikkyoko.or.jp)の例を参考にしてください。)

⑤ 図表・写真等の留意事項

掲載する図表・写真は、「教育研究集録」作成時に図表等が見にくくならないように配慮してください。A4判1ページ分になるよう貼り付けまたはデジカメ等で取り込んだものにしてください。

⑥ 論文応募方法

印刷した論文および電子データ（CD-ROM等）を、下記公益財団法人日本教育公務員弘済会東京支部あてに送付してください。

（東京支部に応募された論文のうち、学校部門最大2編が当教育賞に推薦されます。）

〒102-0074 東京都千代田区九段南2-6-8 都教弘会館5階
公益財団法人日本教育公務員弘済会東京支部

3. 表彰及び賞金額

- (1) 日教弘教育賞・最優秀賞2篇
学校・研究団体(50万円)
- (2) 日教弘教育賞・優秀賞 6篇
学校・研究団体(40万円)
- (3) 日教弘教育賞・優良賞 8篇
学校・研究団体(30万円)
- (4) 日教弘教育賞・奨励賞(上記外論文)
学校・研究団体(10万円)

- ※1. 最優秀賞・優秀賞・優良賞の該当数は、審査結果により変わることがあります。
- ※2. 最優秀賞・優秀賞・優良賞の該当者および奨励賞代表者については、表彰式を行い贈呈します。なお、表彰式に出席しない奨励賞該当者については、東京支部から贈呈します。詳しい日程等については、該当者に別途案内します。
- ※3. 日教弘教育賞研究集録を刊行し、教育の振興に役立てます。最優秀賞・優秀賞・優良賞の該当論文については全文を掲載し、奨励賞該当論文については「論文の研究主題・執筆者の氏名・勤務校」を掲載します。また、ホームページにも掲載します。
- ※4. 応募された原稿の著作権は当支部に所属します。
- ※5. 他の論文等にある写真、図表や長い文章を引用する際には、著作権所持者・団体の引用許可を応募者が取ってください。

4. 選考方法

- (1) 日教弘東京支部教育振興事業選考委員会の選考後、一次選考への東京支部推薦者を決定します。
- (2) 日教弘教育振興事業選考委員会にて一次選考、二次選考を行います。
- (2) 採否は文書で各申請者に連絡します。なお、受賞の理由等、選考に関わる問い合わせには回答しません。